

新

年



新年のごあいさつ

ずっと住み続けたいまち「鴻巣」

鴻巣市長 原口 和久

明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆様におかれまして
は、健やかに輝かしい新年をお
迎えのこととお慶び申し上げま
す。

また、平素より、市政運営に
あたりまして、格別のご支援・
ご協力を賜り、厚く御礼申し上
げます。

毎年行っている、市民アン
ケートでは「住み良い」・「ずつ
と住み続けたい」との回答が増
加しておりますが、全国的な課
題である人口減少は本市にもそ
の波が押し寄せています。

この課題を克服するため、私
は平成28年3月に「鴻巣市ま
ち・ひと・しごと創生総合戦
略」を策定し、将来を見据えた
新たな目標を掲げ、事業に取り
組んでまいりました。

主な事業といたしまして、三
世代で同居・近居するために市
外から転入される家庭等に対す
る住宅取得補助事業や、県内で
唯一本市のみが行っている結婚
新生活支援補助事業、18歳以下
の子どもを3人以上養育してい
る世帯への経済的支援として18

歳年度末まで医療費無料化を拡
大したほか、小学4年生の心臓
健診の実施や、児童生徒の健康
診断に四肢状態検査を追加しま
した。

また、平成27年10月には「健
康づくり都市」を宣言し「人も
まちも健康」なまちづくりを進
めています。市民の皆様の健康
づくりでは、ふるさと総合緑道
等を活用し、6つのウォーキン
グコースを紹介した「歩鴻マッ
プ」の作成や健康ウォーキング
ポイント事業の拡大、ラジオ体
操の推奨などにより健康寿命の
延伸に努めました。

まちの健康では、北新宿第二
土地区画整理事業、広田中央特
定土地区画整理事業や、吹上駅
自由通路の改修工事に向けた調
査、三谷橋大間線Ⅱ期工事や荒
川左岸通線整備事業の進捗、鴻
巣行田北本環境資源組合におけ
る新ごみ処理施設の整備支援、
「コウノトリの里づくり」など、
人にやさしい自然環境の保全を
考慮しながら都市基盤の整備
に取り組み、市民の皆様の利便
性・快適性の向上に努めてまい
りました。

本年は、行政機能を集約し利
便性の高い庁舎へとリニューアル
した市役所本庁舎の業務を1
月4日から再開したほか、鴻巣
駅東口駅通り地区市街地再開発
事業では、平成31年の完成を目
指し建築工事が開始されます。

現在、私は平成29年度からの
10年間を計画期間とする、市の
最上位計画「第6次鴻巣市総合
振興計画」を策定しております。

この計画では平成38年度の将来
人口目標を11万2,700人と
設定し、これまでの市の将来都
市像「花かおり、緑あふれ、人
輝くまち、こうのす」を継承し
ながら本市を取り巻く社会情勢
の変化を踏まえつつ、新たなま
ちづくりを展開することとして
おりますので、皆様には一層の
ご支援・ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、
本年が健やかで幸多き1年とな
ることをご祈念申し上げ、新年
のごあいさつとさせていただきます。

平成28年の主な出来事



花と音楽の館かわざと「花久の里」
リニューアルオープン（4月）



鴻巣びつくりひな祭り メイン会場をエルミエ
のすショッピングモールに移転して開催（2月）



産業観光館「ひなの里」
来館者10万人達成（2月）



賀

謹

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成29年の新春を健やかに迎えのこころと、心からお慶び申し上げます。また、平素から議会の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代表して、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月の熊本地震では、家屋倒壊や土砂災害などにより多くの尊い命が失われ、甚大な被害をもたらすなど、自然の災害が猛威を振るいました。また、12月の糸魚川市の大火災では、木造住宅の密集する地域での出火が、強風のため延焼し、甚大な被害をもたらしました。災害は、いつどこで起こっても不思議ではありません。「自助・共助・公助」という言葉もありますが、日頃の備え・心構えが必要であり、自らの命は自ら守る備え・心構えが大切だと感じています。

ところで、本市は、昨年12月、第6次鴻巣市総合振興計画基本構想を策定しましたが、今後、

この基本構想に基づく施策に関係して、議会で活発な議論が展開されると考えています。

また、市議会には4つの常任委員会があり、閉会中も活発に活動しています。政策総務常任委員会では、公共施設アセット・マネジメントに係る調査研究を行い、昨年11月、市長あて提言書を提出しました。文教福祉常任委員会では、市内の認知症総合支援事業や放課後児童クラブなどの視察研修をしました。まちづくり常任委員会では、群馬県太田市の「おうかがい市バス」の取組状況を把握するなど、コミュニケーションバス運行の調査等を行いました。市民環境常任委員会では、昨年6月議会以降「鴻巣の花を見て育てて贈ってふれあう花のある生活促進条例」の制定に向けた調査等を行い、昨年12月議会に条例を提案し、可決されました。

本市は、日本有数の花の生産地として、プリムラ・サルビア・マリーゴールドの出荷量が

日本一で、日本一広いポピー畑があり、東日本最大級の花き市場を有しています。この条例が「花のまち鴻巣」を内外にPRし、花産業を活性化し、心豊かな市民生活が実現する一助になれば幸いです。

そのほか、政策総務常任委員会を中心として「人口減少対策委員会」を設置し、鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略を調査研究の上、市長あて提言書を提出しました。

なお、市役所本庁舎の改修工事が終了し、市議会は、本年から本庁舎5階議場において開催されます。議会は、地方自治体の意思決定機関として非常に大きな責任を担っており、私たち議員は、与えられた使命を十分認識し、市民の皆様の負託に応えられる議会として、今年も一生懸命取り組んでまいります。

年頭にあたりまして、市民の皆様への限りないご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

市民の皆様への負託に 応えられる議会を目指して

新年のごあいさつ

鴻巣市議会議長 中野 昭



歩鴻マップを作成し、ウォーキングをさらに推進 (12月)



女性消防分団 (Flower Fire Fighters) 誕生 (11月)



小・中学生が自ら実践する行動指針「のすつ子宣言」が未来議会で採択 (7月)

